**前田製作所、インターマット出展に先立ちTrackunit と提携**

**2024年4月9日 東京** OEMメーカーの前田製作所は、最新の商品ラインナップ発表を予定している今月開催のインターマット出展に先駆け、グローバルIoT企業のTrackunit とのパートナーシップを締結いたしました。

長野県に本社を置く前田製作所は、ミニ クローラクレーンやキャリアダンプ、トンネル工事に使用される坑内用ダンプトラックやシールドマシーンを製造しています。また、コマツの日本における正規販売代理店も務めています。

海外事業部部長 深瀬茂樹氏は次のように述べています。「品質と安全の確保に真摯に取り組む中、Trackunit と提携したいと思っていました。 ミニ クローラクレーンの第一人者になるという大きな目標に向けて努力する上で、Trackunit のデータレイクから提供される機材の詳細稼働情報が得られれば、さらなる品質・安全基準の強化により顧客満足度を高めることができると考えます」

前田製作所は、4月24日～27日にパリで開催される世界的な建設・土木業界に重点を置いたインターマットにおいて、全商品ラインナップを出展予定です。

「弊社は安全性と環境への責任の両面でISO認証を取得しております。新しいモデルにテレマティクスを導入することで、ビジネスをさらに成長させたいと考えます」と深瀬氏は言います。 「インターマットへの出展は、その上で重要な役割を果たすでしょう」

2021年にシンガポールに事務所を開設したTrackunit のアジアパシフィック＆ジャパン（APJ）地域の上級副社長 チーセン・ゲイ氏は、前田製作所とのパートナーシップは、世界的なIoT企業によるAPJ 地域への大規模な投資があったからこそ実現できたと述べています。

「APJ 地域における影響力を大きく知らしめたく、サテライトオフィスを併設し、シンガポールにそのハブを設立することで、APJに留まるという意思を示しました」とゲイ氏は言います。 「前田製作所のような重要なプレイヤーとの協力体制を築くことはその一環であり、地域的にも世界的にも可能な限り広く業界との連携構築のため懸命に取り組んでいます」

「ミニクレーン市場の重要なプレーヤーである前田製作所との今後の協力関係を楽しみにしています」とゲイ氏は続けます。 「業界全体としてダウンタイムの問題に取り組み、建設業界の評価を回復させる究極の鍵は、コネクティビティ（機材の詳細稼働情報との接続と活用）にあります」

前田製作所は、4月24日～27日にパリで開催されるインターマットにおいて、EXT5 ホール E032 スタンドで出展します。

**Trackunit について**

世界的なIoT サービスプロバイダーであるTrackunit は、1つのプラットフォームを介して建設業界をつないで、発展を続ける生きたエコシステムを作り出し、オフ・ハイウェイ分野にデータとインサイトを提供します。 200万台以上の機材との接続を誇るTrackunit は、機材のダウンタイムをなくし、安全性を向上させ、持続可能かつ費用対効果の高い方法で顧客収益を底上げしています。

詳しくは[Trackunit.com](https://www.trackunit.com/) をご覧ください。

前田製作所について

1962年に設立された株式会社 前田製作所は、 建設機械、産業機械の製造、アフターサービス、レンタルと鉄鋼構造製品の製造を行ってきました。 今日まで、前田製作所は職人気質と優れた製品技術を基に、機械化や労力削減、そして土木建設産業における安全営の向上を通じて、社会インフラ開発に重点を置いてきました。

[www.maeda-minicranes.com](http://www.maeda-minicranes.com)